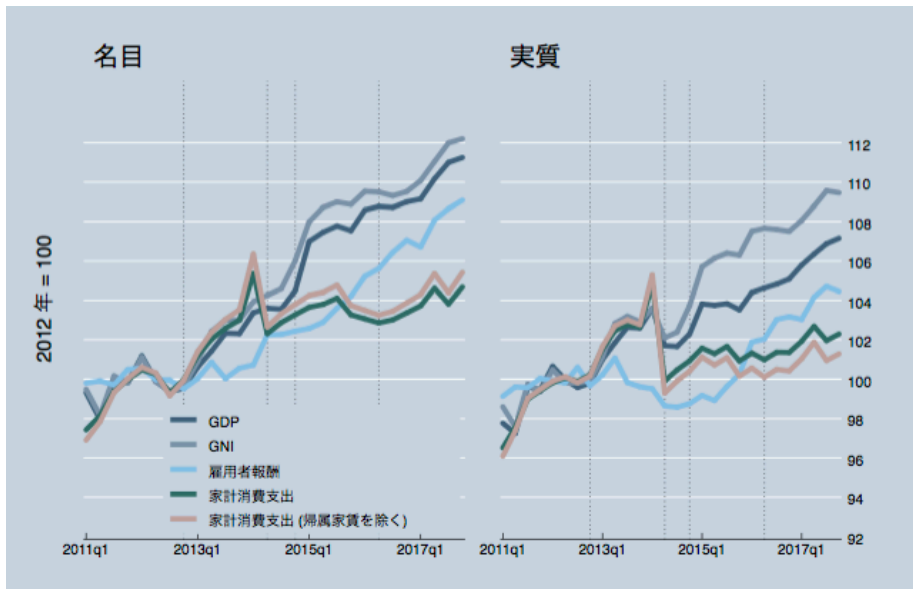


# 消費の分析：ミクロ統計とマクロ統計

宇南山卓

2018年6月

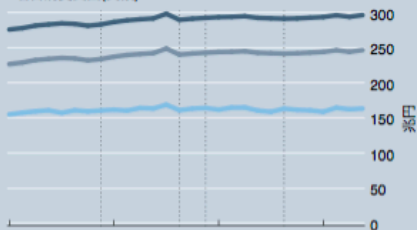
# 伸び悩む消費



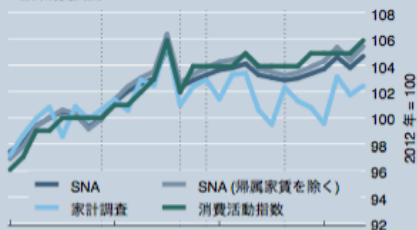
- マクロ統計による分析
  - 国民経済計算・制度部門別所得支出勘定・家計
  - 他の部門や金融面、ストック面などとの整合性が確保
- ミクロ統計による分析
  - 家計調査・消費支出
  - 家計部門内の非対称性、詳細な財別の観察が可能
- マクロ統計とミクロ統計の整合性
  - ミクロの「平均」に世帯数をかけてもマクロにならない...Fig
  - 世帯数を調整すればマクロの消費動向と類似
  - (現在の) ミクロとマクロの動向差は耐久財・反耐久財で発生...Fig
    - 耐久財については家計調査での記入漏れの問題が知られている
    - 耐久財・半耐久財のシェアは小さい
- 消費の停滞とは？
  - 消費税引上げ後のトレンドの屈折？
  - 消費税引き上げ後のレベルの低下？
  - GDP(所得)の伸びと比較した低い伸び？

# 家計消費の各種指標 ...back

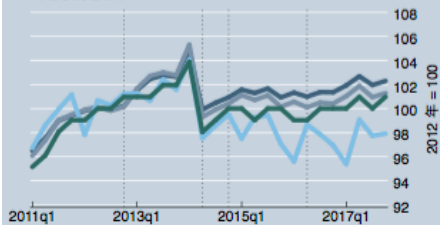
名目消費支出(実額)



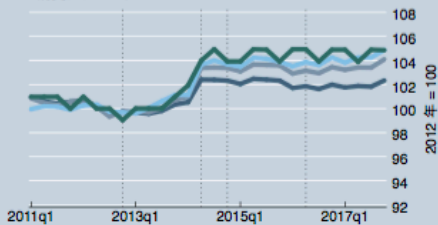
名目消費支出



実質消費支出



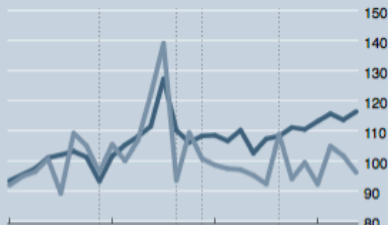
消費デフレーター



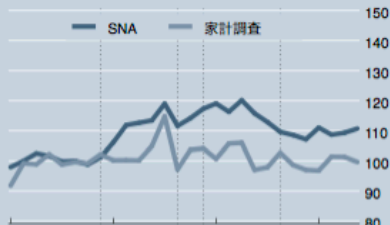
# 形態別名目消費 ...back

2012年 = 100

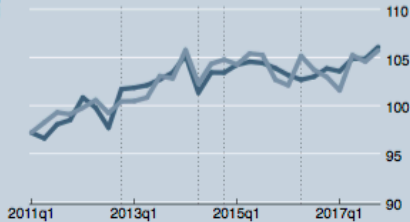
名目耐久財消費



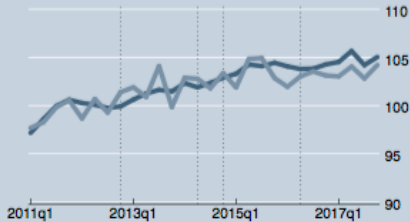
名目半耐久財消費



名目非耐久財消費



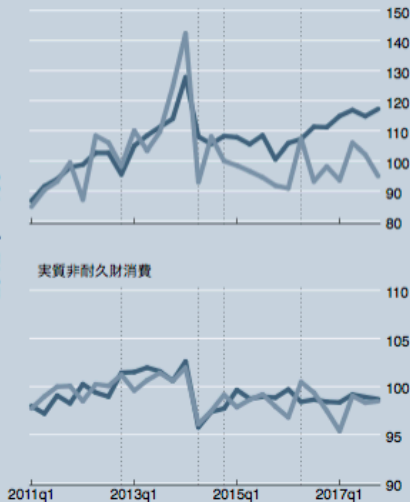
名目サービス消費 (帰属家賃を除く)



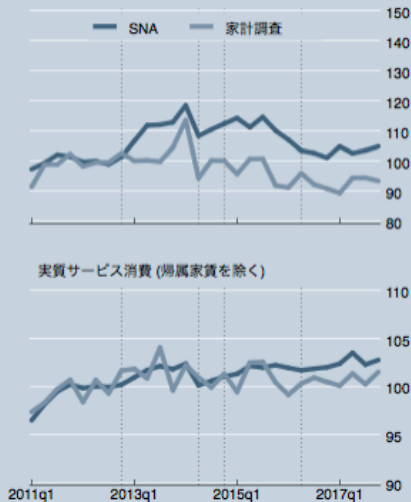
# 形態別実質消費 ...back

2012年 = 100

実質耐久財消費



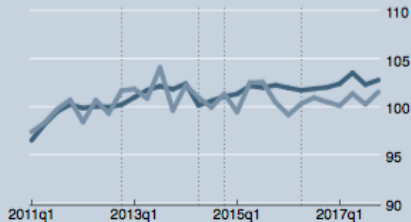
実質半耐久財消費



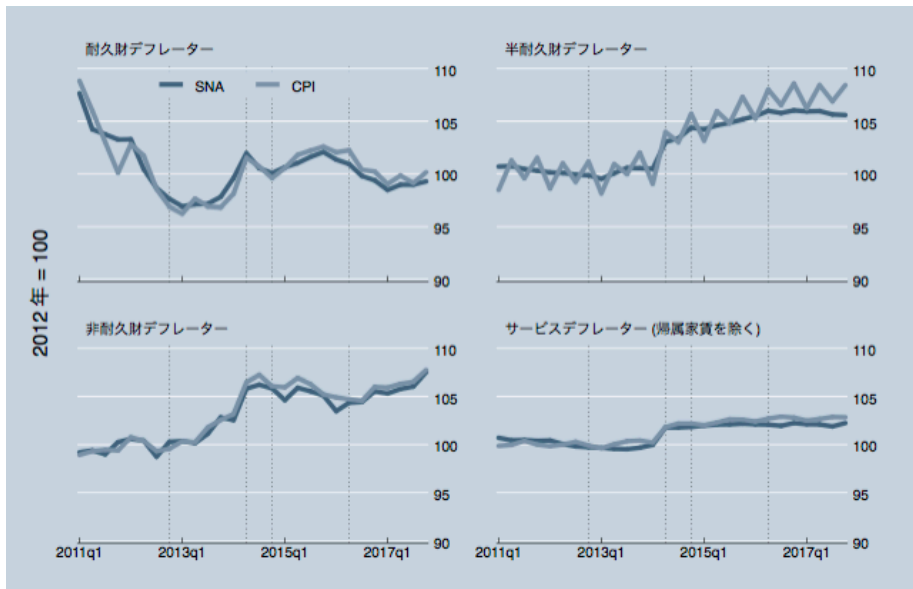
実質非耐久財消費



実質サービス消費 (帰属家賃を除く)



# 形態別消費デフレーター ...back



# だれが消費を減らしているのか？

- 家計調査を用いて世帯属性別の消費動向を比較
  - 分類する世帯属性はできるだけ多く
  - 消費の水準ではなく 2012 年を基準とした推移を見る
- 非耐久財消費に注目
  - マクロと統合的な分析が可能
  - 短期的な変動を除外できる
- 通常考えられる世帯属性では非対称性は発見できず ...Fig
- 住宅ローンを抱える持家世帯が消費を減らしていた ...Fig
  - 欧米の研究では住宅ローン世帯が景気回復のカギとされた
    - 低金利政策により返済負担が減る
    - 住宅ローンのある世帯は借入制約に直面している可能性が高い
- なぜ日本では住宅ローンのある世帯の消費が停滞しているのか？
  - すでに低金利が長期間続いているから＝ゼロ金利制約？
  - 低金利政策が浸透していない？＝借換が不十分？



- 消費の分析にはミクロ統計とマクロ統計の両者の活用が必要
  - レベルではなく変化を見るべき
  - 世帯数を調整することは必須
  - 非耐久財・サービスは統合的な分析が可能
- 消費税引き上げ後の消費の落ち込みの主要な部分是非耐久財
  - ミクロ統計を用いた分析が可能
  - 「反動減」ではないと考えられる
- 世帯属性別に見ると「住宅ローンのある世帯」の消費が停滞
  - 欧米とは異なる性質
  - その原因については今後の検討課題